

ワクチン接種を管理するシステムの都道府県調査について

1 調査の目的

- ・ ワクチン接種に当たり、厚生労働省においては、ワクチン等の割当量を調整する「ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）」を整備し、内閣官房では、マイナンバーを活用し、個人単位の接種状況を逐次把握する「ワクチン接種記録システム」を開発中。
- ・ 一方、接種を担う地方においては、従来から各自治体で整備した「予防接種台帳」による管理を行っており、一部の自治体では、民間企業が開発した接種予約システムの導入を予定。
- ・ ワクチンの円滑な接種に向けては、こうした複数のシステムの間での情報連携が重要となることから、システム整備に関して、問題点を洗い出すとともに、各都道府県での検討状況も踏まえ、調査結果を国への提言等に反映する。

2 調査期間

令和3年2月17日（水）から同月22日（月）まで

3 調査項目

- ① 一体的な制度設計と迅速な情報提供
- ② システム間の連携と接種履歴の管理
- ③ 予防接種台帳システムの改修
- ④ 接種予約について
- ⑤ マイナンバー法の改正について
- ⑥ システムの運用に伴う事務負担の軽減対策について
- ⑦ その他

4 今後の予定

各都道府県から寄せられた意見を集約・分析し、国への提言等に反映。